

市民とともに

安倍政権の暴走にストップ

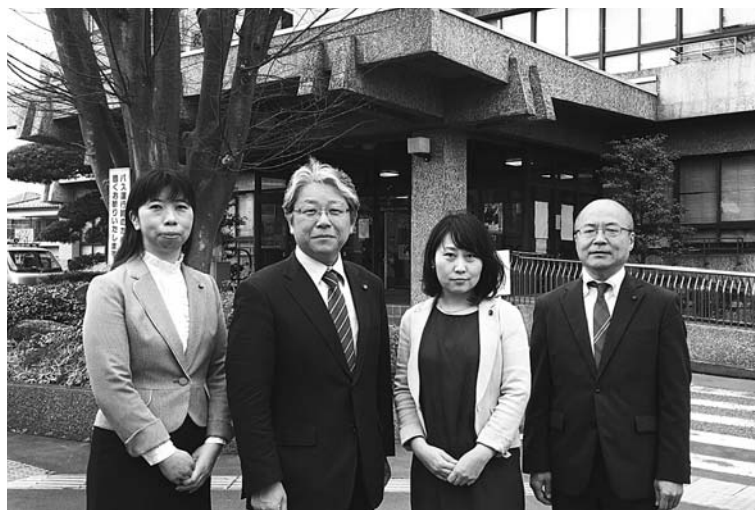
未来を見すえ、しっかりと守る市政の前進を

3月定例会市議会（2月24日～3月23日）では、新年度予算など市長提出議案34件のすべてが可決されました。

安倍政権の大企業優先の経済政策が続く中、市民からは「物

価が上がり暮らしは厳しい」などの声が寄せられます。今議会でも、市民の平均所得が10年前と比べても、13万円減となつて

いる実態が示されました。一方、拡大する保育需要や高齢化の進展、大規模災害への対応など、市政の課題は山積。新年度には、国保広域化の対応や、市役所庁舎の耐震整備方針の具体化なども控えています。



市役所庁舎前で（左から山協議員、鈴木議員、宮下議員、梶原議員）

今年度、市庁舎整備の基本方向が決まります

日本共産党市議団は、蕨市政が様々な課題に対応するうえでも、市民生活を守る立場や、財政健全化の努力、市民への丁寧な説明などを継

続することを求めました。

ホームドア設置など、より安全な蕨駅に

蕨駅での転落死亡事故を受け、蕨市議会は、蕨駅へのホームドア早期設置など、安全対策を求め

る決議を可決。国へも意見書を送付しました。ホームドアは党市議団も実現を求めてきたもので、事故後には、梅村さえこ衆院議員とともにJRに早期設

市民の安心と未来につながる市政運営に全力

頼高市長が施政方針表明

頼高市長は、施政方針で、社会経済状況を「国民誰もが景気回復を実感するには程遠い」と指摘し、新年度予算の特徴を「市民の安心と未来へのステップ」

置などを申し入れました。この件では、蕨市は、事故後いち早くホームドア早期設置などを要請。JRは設置を一年早めるなど対策を発表しました。

内心の自由を侵す「共謀罪法」はストップを！

学者、弁護士、市民など、多くの国民が反対してきた「共謀罪法案」の審議入りが強行されました。党市議団は、思想信条、内心の自由を侵すこの法案には絶対に反対です。

同法案を国会提出しないことを求める市民からの陳情に、党市議団は賛成討論を行い、民進党、無所属の議員も賛成を表明。一方、新生会・公明党は、討論での意見表明もなく反対し、陳情は不採択となりました。

と紹介。公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点にたった施設管理をすすめることなどの方針と施策を表明しました。※主な施策は2・3面で紹介

日本共産党蕨市議団ニュース

3月市議会報告

2017年4・5月号

事務所 TEL 443-8332 FAX 444-6531

市会議員

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129
梶原秀明 ☎447-1928 宮下奈美 ☎211-0922
ホームページアドレス
<http://www.jcp-warabi.jp> JCP 蕨 検索
メールアドレス info@jcp-warabi.jp

2017年度 市民の願いが反映された予算が成立

安全安心のまちへ

公共施設等総合管理計画を決定
担当部署が置かれ、「計画」に基づく総合的な管理を実施。施設の総量抑制と長寿命化が基本方針

市庁舎の耐震化整備方法を検討

専門家や公募市民などで構成される市庁舎整備検討審議会を設置し、整備方法を検討。方向性を決定

公共施設等の耐震化・長寿命化等

【耐震補強工事】

◎市民会館・中央公民館・勤労青少年ホーム
(18年1月完了予定)



耐震補強工事が行われる市民会館等

◎市民体育館(6月末完了予定)

【耐震補強設計】

◎錦町児童館 ◎図書館

【耐震診断】

◎市営住宅(錦町2丁目第1住宅、錦町4丁目住宅1号棟)

【長寿命化等】

◎橋りょう長寿命化修繕計画策定

◎下水道管路長寿命化詳細計画策定

◎市立病院整備の基礎調査を実施

街なか防犯カメラ

市内140基設置。運用上の基準を設け、プライバシー保護に留意

木造住宅耐震化工事補助金を倍増

17年度に限り一戸あたり60万円。啓発のために各戸訪問を実施。対象は約5千棟。

LED防犯灯

外国人児童・生徒等の日本語指導

教育センターに統括相談員と日本語特別教育支援員を配置。日本語特別支援教室を開設。急増する外国人児童・生徒、保護者を支援

市独自の35人程度学級

4つの学年(西小4年、南小6年、北小5年、中東小4年)が対象。教員確保のために市費教員の賃金月額を3万円増額

学校トイレの改修

一部を洋式に(西小・中東小・東中)

がん検診の拡充等

乳がん検診日数を20日間へ拡充。胃内視鏡検査を拡充し申し込みを抽選方式に(6歳以上)



末広公園の整備

東口商店街・コミュニティショップ道路と一体に整備

錦町土地区画整理事業

今年度は20棟の家屋移転等を計画。16年度補正予算では、国の第2次補正による交付金増額による事業(11棟分)を計上

粗大ごみ収集券を市内の一部小売店舗で販売



整備されたコミュニティショッピング道路(塚越1丁目)

昨年度末で全防犯灯のLED化が完了。町会が担っていた故障などの管理は、コールセンターや市が窓口

住民票、戸籍、印鑑証明のコンビニ交付

マイナンバーカードの所持が前提。現在の所持者は1割程度

女性相談員によるDV相談

週2回から3回へ拡充

アクティブシニアの社会参加支援

昨年度に続き、元気なシニア世代の市民活動への参加を促します

洪水ハザードマップの改定

市財政の健全化

市の借金総額は合計で約307億9500万円(前年度比1億3700万円の減)となる予定

・定員500人・25000円

不妊検査費を助成

医師が必要と認めた不妊検査の費用を助成。42歳まで1回限り2万円

子育て応援の拡充

妊婦の歯科検診を個別化。胎動疑似体験など父親向け講座を開催

介護保険

▼4ヶ所目の特別養護老人ホーム設置(19年2月予定)へ、用地確保奨励金を地主へ支給▼地域密着型認知症対応型グループホーム増設▼地域ケア会議で介護状態の改善を支援▼認知症対策の拡充

市立病院の経営改善

整形外科医の確保などで黒字基調

北町桜並木の剪定

蕨高校北側から国道17号線まで

一般会計予算への付帯決議について

新生会・公明党が提案した付帯決議は、中央公民館バリアフリー化へ、6月議会への設計予算の計上などを求める内容ですが、市政への法的拘束力はありません。

日本共産党市議団は、付帯決議が技術的に実現困難な内容を求めていることや、市民要望を反映させるうえ

国民健康保険税新制度の影響は?

18年度から制度が変更、財政の運営主体は埼玉県に。新制度の影響や、医療給付費の増加に対応するため、税率の見直しを検討されます。法定外繰入による市民の負担軽減や低所得者への配慮が必要との考えが示されました。

でも問題があること等を指摘し、反対しました。

悩み・困りごとは日本共産党にご相談ください

事務所

☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



梶原秀明



宮下奈美

日本共産党市議団の市民相談会

4月26日(水)

午後2時~4時

5月10日(水) 24日(水)

市役所4階

日本共産党市議団控室

無料 当日の連絡先 ☎432-3590

公共施設等の総合管理
市民本位の対応を

鈴木 蕨市公共施設等総合管理計画の特徴、課題と方針はどうか。
総務部長 公共施設等を長期的視点で総合的に計画的に管理する。多くの施設は築後30年以上経過し、旧耐震基準の延べ床面積は6割程度。「長寿命化」と「総量の抑制」を基本目標に実施方針を示した。
鈴木 必要な財源の措置は。市民負担を最小限とすべきでは。
総務部長 補助金、基金、起債を適切に活用。負担軽減に「長寿命化」は有効。市民合意に努める。
鈴木 これまでの重点と今後の対応について、市長の見解は。
市長 市長就任の際、前市政の検



生活相談などは気軽に

鈴木さとしのプロフィール

●市議4期、党市議団長、総務常任委員会委員、党市委員長 ●家族は、妻と子3人 ●中央5-9-7 ☎444-6957 ●主な活動地域 塚越2・3・6・7丁目、中央1・3・4・5丁目 ●@suzuki719、フェイスブックでも発信中

国保の新制度への対応について

鈴木 (新制度において)現在行っている一般会計からの繰り入れと、市民負担(国保税)を變更しなかった場合の影響はどのようか。くらしの現状を考慮し、負担を増やさない努力が必要ではないか。
健康福祉部長 県シミュレーション(一回目)では、蕨市の負担が約10%増加する結果。今後の試算

蕨駅へのホームドア設置など安全対策の推進を

鈴木 1月の蕨駅ホームでの転落死亡事故を受け、日本共産党市議団は、梅村さえこ衆院議員や障がい者団体と、JRに安全対策の推進などを申し入れてきた。この間の蕨市の対応はどうだったか。
総務部長 蕨駅へのホームドアの早期設置など安全対策強化を求め駅利用者や市民に「声かけ」の啓発を行った。これに対し、JR東日本では、ホームへの警備員配置やPCラインの導入などの緊急対策を行い、ホームドア設置の一年前倒し等の取り組みを発表した。

整備がすすむ留守家庭
児童指導室

鈴木 障がい者等の声を安全対策にいかすための市の積極的な対応を。
2008年以来、留守家庭児童指導室の学校敷地内設置をくりかえし提案。今年度は4室が増設され、全小学校への設置が一巡しました。引き続き、市民の声を届け、拡充をめざします。

日本共産党市議団の
一般質問項目

やまわき紀子議員

◆子育てするならわらび保育行政の推進を
◆障がい者福祉の推進(南町の生活介護事業所設置の見直し、くらしの場確保等)
◆南町桜並木遊歩道でのたばこの投げ捨て防止を



梶原秀明議員

◆高い学費と奨学金の返済負担が社会問題に。蕨で給付型奨学金の創設を
◆生健会などの要望で入浴券が川口市内銭湯でも利用できるようになった
◆賃貸マンションでのごみ収集対策
◆情報公開制度



宮下奈美議員

◆LGBT対応について
◆小中学校の児童・生徒において、当事者が悩みなどを相談しやすい(言い出しやすさ)環境づくりをすべき
◆松原会館の老朽化対策
◆外国人児童・生徒など日本語指導が必要な児童・生徒への対応について



「子育てするならわらび」
保育行政の推進を

【山脇】 保育園の新規入園希望者数と継続希望者数はどうか。承諾者数は年齢別でどのようか。

【健康福祉部長】 平成29年度新規349人、継続919人の合計1268人。不承諾者数は67人の昨年度から18人増（0歳12人、1歳23人、2歳17人、3歳13人、5歳2人）。

【山脇】 市長就任前から比較すると5園から13園へと定員も600人から1168人とふやし努力してきた。しかし、不承諾者数67人このことから引き続き、認可保育園をふやしていく考えはあるか。

【部長】 増設にあたっては定員や

立地について現状に合わせて検討してきたい。

【山脇】 病児保育室の開設にむけての検討はどの進められているか。

【部長】 クリニック併設型は断念し、保育所併設型もふくめ検討を継続している。

【山脇】 新規に開設をする4つの学童保育室を運営委託するにあたっての業者選定の経過は。運営委託するにいたった理由はどのようか。

【部長】 5つの団体からの応募があり2つの団体に2施設ずつの運営を委託。当初より市直営による事業の実施を目指してきたが、直接採用による人員の確保が充分にできない状況が続いたことから運営を委託することを決定した。

障がい者福祉の推進を

【山脇】 交流プラザさくら内に計画した生活介護等支援事業所設置の見通しはどのようか。

【部長】 平成30年4月までには事業を開始したい。

【山脇】 障がい者のくらしの場（グループホーム・入所施設）を市内に確保するための検討状況はどうか。

【部長】 市長マニフェストに「障がい者入所施設の広域的検討とグループホーム整備」を掲げて取り組んでいる。

南町桜並木遊歩道での
たばこの投げ捨て防止を

【山脇】 南町桜並木遊歩道は、市道とは違い、公共の場に準ずる環境にある。たばこの投げ捨てを防止する対策を講じるべきと考えるがどうか。

【市民生活部長】 市ではたばこのポイ捨てや迷惑な歩きたばこをなくすため「路上喫煙の防止等に関する条例」を施行し、市内全域の道路や公園など公共の場所です喫煙しないよう努力することを規定。喫煙マナーの啓発と投げ捨てにくく環境づくりに努める。

日本共産党市議団の
一般質問項目

鈴木さとし議員

◆公共施設等総合管理計画に基づく対応と市役所庁舎の整備
◆国民健康保険の制度変更について／影響と対応方針／市民負担を抑える努力を
◆蕨駅へのホームドア設置など安全対策を



宮下奈美議員

◆LGBT対応について
小中学校の児童・生徒において、当事者が悩みなどを相談しやすい（言いつやす）環境づくりに努めべき
◆松原会館の老朽化対策
◆外国人児童・生徒など日本語指導が必要な児童・生徒への対応について



梶原秀明議員

◆高い学費と奨学金の返済負担が社会問題に。蕨で給付型奨学金の創設を
◆生健会などの要望で入浴券が川口市内銭湯でも利用できるようになった
◆賃貸マンションでのごみ収集対策
◆情報公開制度



やまわき紀子のプロフィール

- 1972年わらび生まれわらび育ち。
- 現在、市議5期、環境福祉経済常任委員会委員長、原水爆禁止蕨市協議会副会長など。小・中・高校PTA役員歴任。
- 住所 南町2-31-14 TEL・FAX446-3129
- 主な活動地域は、南町全域。

困りごとや市政への要望など
ご相談お受けしています

f フェイスブックでも情報発信中

3月市議会

梶原秀明議員の一般質問

給付型奨学金創設を。入浴券が川口市内でも利用可能に

『奨学金「地獄」(小学館新書)』という本が出版されるほど、高すぎる大学学費、卒業時に300万円もの借金を背負う負担などが社会問題となっています。私は、蕨市の給付型奨学金の実施を提案。教育部長は「給付型奨学金は、経済的に困難な人の進学のための後押しに有効だが、財源確保など大きな課題がある」と答弁。国等の動向を注視するとの説明にとどまりました。

【梶原】市の貸与型奨学金を借りる人の家庭状況はどのようであるか。

【教育部長】親の収入が低いこと、兄弟の2人目の進学など、経済的理由(困難)があると感じている。

【梶原】高い学費で進学や卒業をあきらめる人がいる。卒業後も返済に苦しむ人がいる。若者の未来を応援する社会を作るために、市の対応も求める。

◆塚越で銭湯が2軒廃業した。福祉入浴券を市外でも利用できるように

【梶原】1月に蕨市生健会が市民の声を受けて市に要望した。入浴券が4月から川口市内でも利用可能となりよかった。(市が浴場事業者と交渉した結果、猫橋近くの「ニユー松の湯」と青木公園近くの「よしの湯」で、日曜日以外、自己負担200円で利用できます。)

◆集合住宅のみ収集対策

【梶原】敷地内にごみ集積所がなく公道に大量のごみを出す例

実現した主な地域要望



東口喫煙所を撤去し受動喫煙がなくなる(昨年7月末。15年12月議会で一般質問)



北1歩道橋に手すりが設置される(3月。昨年9月議会で一般質問)



4月に新設した学童保育室(北町C館(左)と塚越B館(右)。毎年増設を要望)



昨年12月に舗装された私道(北町4丁目。住民要望を市に届ける)

がある。市は、住宅所有者などに集積所設置の強い指導をしてほしい。

【市民生活部長】敷地内に集積所をつくるよう所有者等へ指導を強化したい。



蕨のまちづくりについての国会論戦を報告する梅村ささこ衆院議員と梶原市議(左)
11月10日、蕨駅西口

日本共産党市議団の一般質問項目

やまわき紀子議員

- ◆「子育てするならわらび」保育行政の推進を
- ◆障がい者福祉の推進(南町の生活介護事業所設置の見直し、くらしの場確保等)
- ◆南町桜並木遊歩道でのたばこの投げ捨て防止を



鈴木さとし議員

- ◆公共施設等総合管理計画に基づく対応と市役所庁舎の整備
- ◆国民健康保険の制度変更について/影響と対応方針/市民負担を抑える努力を
- ◆蕨駅へのホームドア設置など安全対策を



宮下奈美議員

- ◆LGBT対応について
小中学校の児童・生徒において、当事者が悩むなどを相談しやすい(言い出しやすい)環境づくりをすべき
- ◆松原会館の老朽化対策
- ◆外国人児童・生徒など日本語指導が必要な児童・生徒への対応について



相談はいつでもいつでも



●市議4期、教育まちづくり委員、国民健康保険運営協議会委員、中小企業診断士●主な活動地域：北町、塚越1・4・5丁目●Tel/Fax：447-1928
ホームページ：jcp-warabi.jp
メール：kajiwara@jcp-warabi.jp
@KajiwaraHideaki

LGBT対応について 教育現場で当事者が相談しやすい場所の環境作りを

心と体の性の不一致に悩む性同一性障害の男子児童を女子として受け入れるなど県内自治体でも対応事例が報告されています。一方、当事者の約9割が「小学生くらいまでは一人で悩み続けた」という経験をし、6割が自殺を考えたことがある、3割が不登校となっているとの調査結果もあります。以上の内容を紹介し、蕨市での一層の対応を求めました。

【宮下】市民相談窓口でLGBTへの理解を示すレインボーフラッグやステッカー等を置いてほしい。

【部長】ホームページ等での周知を検討していく。

【宮下】教育現場において当事者が相談しやすい(言いだしやすい)環境作り、保健室にポスターを貼ったり書籍を置いたりしてほしいがどうか。

【教育長】(県が作成している)ポスター等があることは確認している。掲示を検討したい。

【宮下】心の性と違う制服を着たくない、または体の性とは違う制服を着たいと本人が希望した場合の対応についてはどう考えるか。

【教育長】本人や保護者の意向等を踏まえ個別の事情に応じた適切な対応ができるよう県や他市の状況を含め調査研究していきたい。

◆外国人児童・生徒など日本語指導が必要な児童・生徒への対応について

【宮下】2016年度の対象者数と17年度の日本語特別支援教育の加配教員の数はどうか

【教育長】対象者数は小学校79名、中学校17名の計96名。加配教員は前年度の6名から3名増えて9名。

◆松原会館について

【宮下】老朽化が目立つ松原会館への対応はどうか。

【健康福祉部長】老朽化は認識している。社会福祉協議会が所有・運営する施設。どういった支援ができるか、具体的な申し出や方針などがあれば対応したい。



宮下 奈美のプロフィール

- 1976年生まれ、わらび育ち。
- 現在、市議1期。環境福祉経済常任委員会委員、衛生センター組合議会議員、消防委員、小学校PTA会長など。
- 住所 錦町5-1-8 TEL 211-0922
- 主な活動地域は、錦町全域。中央2・6・7丁目

困りごとなどご相談お受けしています

フェイスブック・ブログでも情報発信中



老朽化対策が求められる松原会館

日本共産党市議団の一般質問項目

鈴木さとし議員



- ◆公共施設等総合管理計画に基づく対応と市役所庁舎の整備
- ◆国民健康保険の制度変更について/影響と対応方針/市民負担を抑える努力を
- ◆蕨駅へのホームドア設置など安全対策を

やまわき紀子議員



- ◆「子育てするならわらび」保育行政の推進を
- ◆障がい者福祉の推進(南町の生活介護事業所設置の見直し、くらしの場確保等)
- ◆南町桜並木遊歩道でのたばこの投げ捨て防止を

梶原秀明議員



- ◆高い学費と奨学金の返済負担が社会問題に。蕨で給付型奨学金の創設を
- ◆生健会などの要望で入浴券が川口市内銭湯でも利用できるようになった
- ◆賃貸マンションでのごみ収集対策
- ◆情報公開制度